MIL-STD-461Gの完全なレビュー

Ken Javor
EMC Compliance

削除した古いもの、
最新のもの、
借りてきたもの、
そして、避けたもの。

MIL-STD-461G は、2015 年 12 月 11 日に発行され、その期日以後は契約上の義務が生じる。

この報告書は、「F」版と「G」版を並べて単に比較した長いリストではなく、Tri-Service Working Group（TSWG）により実施された項目の内部報告であり、変更そのものはもちろん、変更の背景にある思考過程なのである。MIL-STD-461G に採用されなかった内容も一部リストアップし、その理由を議論している。

この報告書の公表によって読者が MIL-STD-461G を入手できるなら、大いに役立つだろう。

背景を述べると、MIL-STD-461 は米国空軍によって公式に準備されるが、当然ながら陸軍と海軍の代表者から成る TSWG の成果物でもある。陸軍・海軍の代表に加えて、産業界の代表もメンバーであり、そのうちの 1 人が著者である。

1993 年以降、MIL-STD-461 は常に最新かつ有用な状況を維持するために、5 年毎のレビューサイクルを繰り返している。新しい改訂が 5 年おきにリリースされなければならないというわけではなく、単にレビューをこのサイクルで実施しなければならないという意味である。変更なしの旧版を再確認するのは全く問題ないが、今のところそういうケースはない。

1993 年に発行された MIL-STD-461D と MIL-STD-462D は、今日に至るまで軍用 EMI 規格の大きな「改革」であり、途切れることなく革新的な変更が続いている。MIL-STD-461E は MIL-STD-461 と MIL-